

編集後記

ローマ法雑誌第2号をお届けします。

前号と同様に査読付き論文2本、彙報には史料紹介を加え9本、更に母体たる日本ローマ法研究会の大会概要を掲載しました。

創刊号からの実質的な続編もあれば、創刊号掲載論文への書評も得ました。これには、大会での研究報告に基づく論文（前号掲載）に対する書評も含まれます。こうして、大会報告、雑誌掲載論文、雑誌での書評という循環が実現しました。次号では、書評への反論も歓迎します。

また、大会概要から伺われる通り、本誌と相互に関連する大会報告も得たところです。文字通り、本邦ローマ法学界のフォーラムとして機能し始めたことを言祝ぎたいと思います。

この間、投稿者、査読者、参加者の皆様には、多大のご尽力を頂戴しました。感謝申し上げます。

本誌は、広義のローマ法、すなわち、古代法から、中世以降の解釈史・法学史を含む幅広い範囲を対象とします。また、外国語（SIHDA 公用語たる仏独伊西英の5か国語）による投稿・論文も受理し査読・審査に回します。事前に事務局までご相談下さい。

望外に長大な寄稿を得て、総頁数が大部となりました。オンライン誌の特性を活かし、対面を待ちながら、歩みを続けたく考えます。

（佐々木健）